

国道153号 伊勢神地区防災検討会

令和3年3月4日
国道153号 伊勢神地区防災検討会 事務局

1. 検討会の目的と流れ

○国道153号伊勢神地区（豊田市明川町～小田木町）について、伊勢神地区の異常気象時通行規制区間の緩和・解除に向けた整備方針を検討するにあたり、専門的な観点から指導・助言を行うことを目的とする。

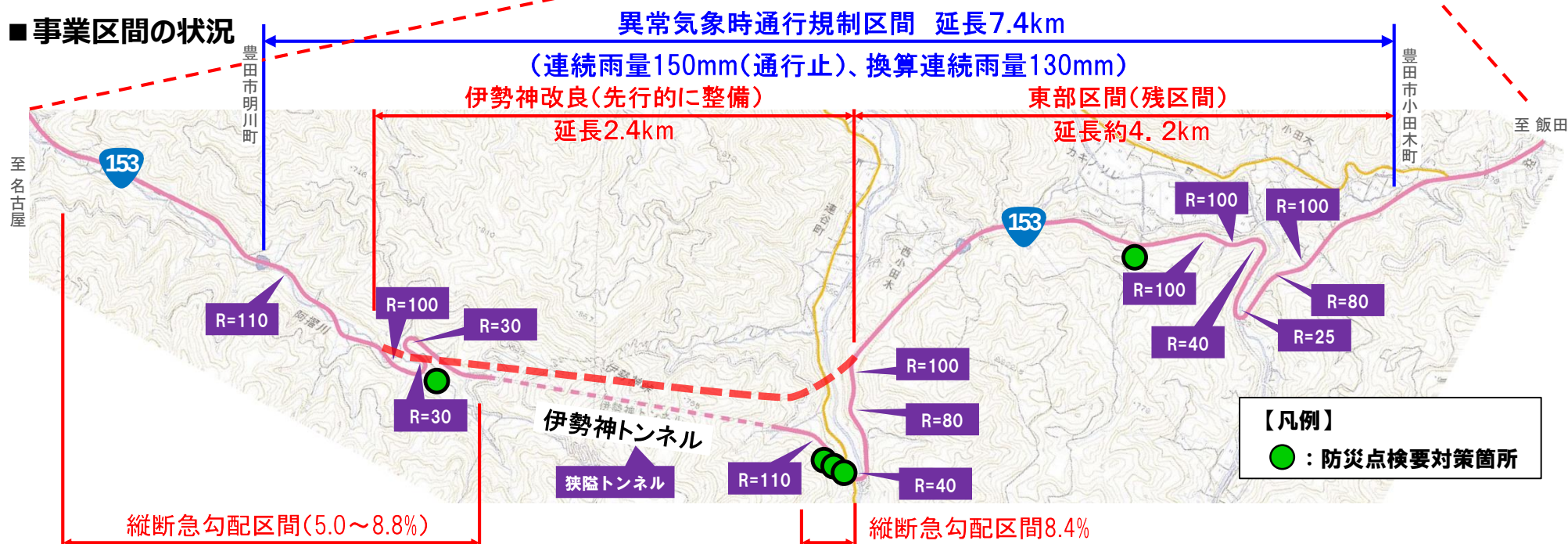
○伊勢神改良の完了にあわせ、規制区間の緩和・解除を図るために、全線における防災上の安全性の確認（対策完了箇所及び新たな要対策箇所）、具体的対策方針等の検討を行う。

○線形不良による交通課題が残る東部区間について、課題解消に向けた検討を行う。

■事業箇所の位置図

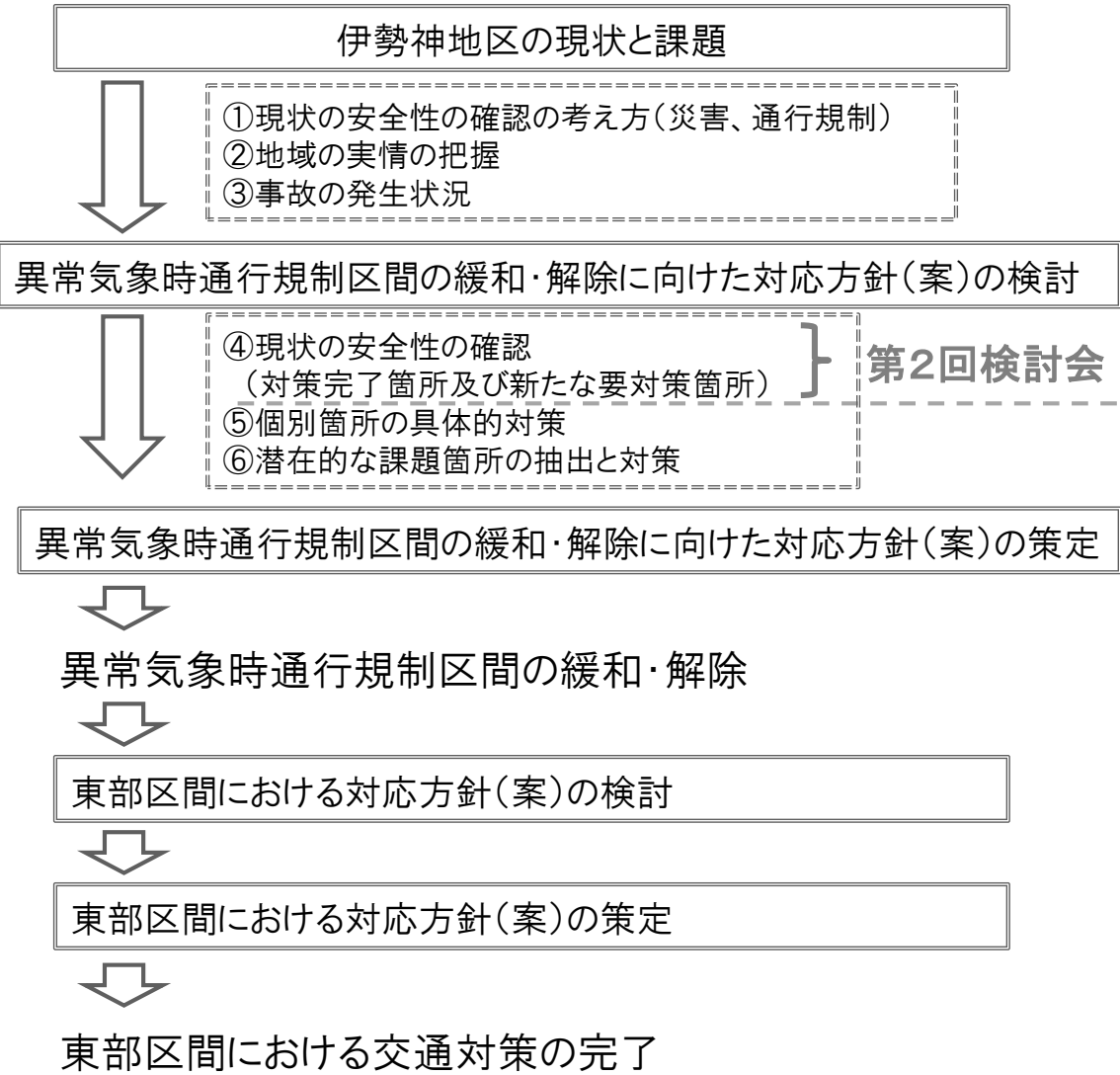


■事業区間の状況



1. 検討会の目的と流れ

■ 検討会の流れ



■ 検討会のメンバー

氏 名	所属・役職
板橋 一雄	名城大学理工学部 教授 ※会長
鈴木 弘司	名古屋工業大学 准教授
米田 茂夫	一般社団法人 日本応用地質学会 顧問
五十川 泰史	名古屋国道事務所 所長

2. 前回検討会の議事要旨

1. 日時

令和2年3月10日（火）※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、持ち回り会議

2. 出席者（構成員）

名城大学理工学部 教授 板橋 一雄 ※会長
名古屋工業大学 准教授 鈴木 弘司
一般社団法人 日本応用地質学会 顧問 米田 茂夫
国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所長 五十川 泰史

3. 議題

- ・ 検討会の目的と流れ
- ・ 伊勢神地区の現状と課題
- ・ 異常気象時通行規制区間の解除に向けた対応方針の検討
- ・ 伊勢神改良区間の対応方針

4. 議事要旨

- ・ 「国道153号伊勢神地区防災検討会」を設立することについて了承を得た。
- ・ 伊勢神地区の現状と課題及び今後の進め方について確認した。
- ・ 伊勢神改良の進捗状況及び事業計画の見直しによる事業費見直しについて確認した。
（事業計画の見直し）
 - ・ 重要物流道路の指定に伴う構造の見直し（断面拡大）
 - ・ 上記による発生土処分地追加（連谷地区）に伴う運搬経路の整備
 - ・ 発生土処分地（小田木地区）の整備に伴う調整池の整備

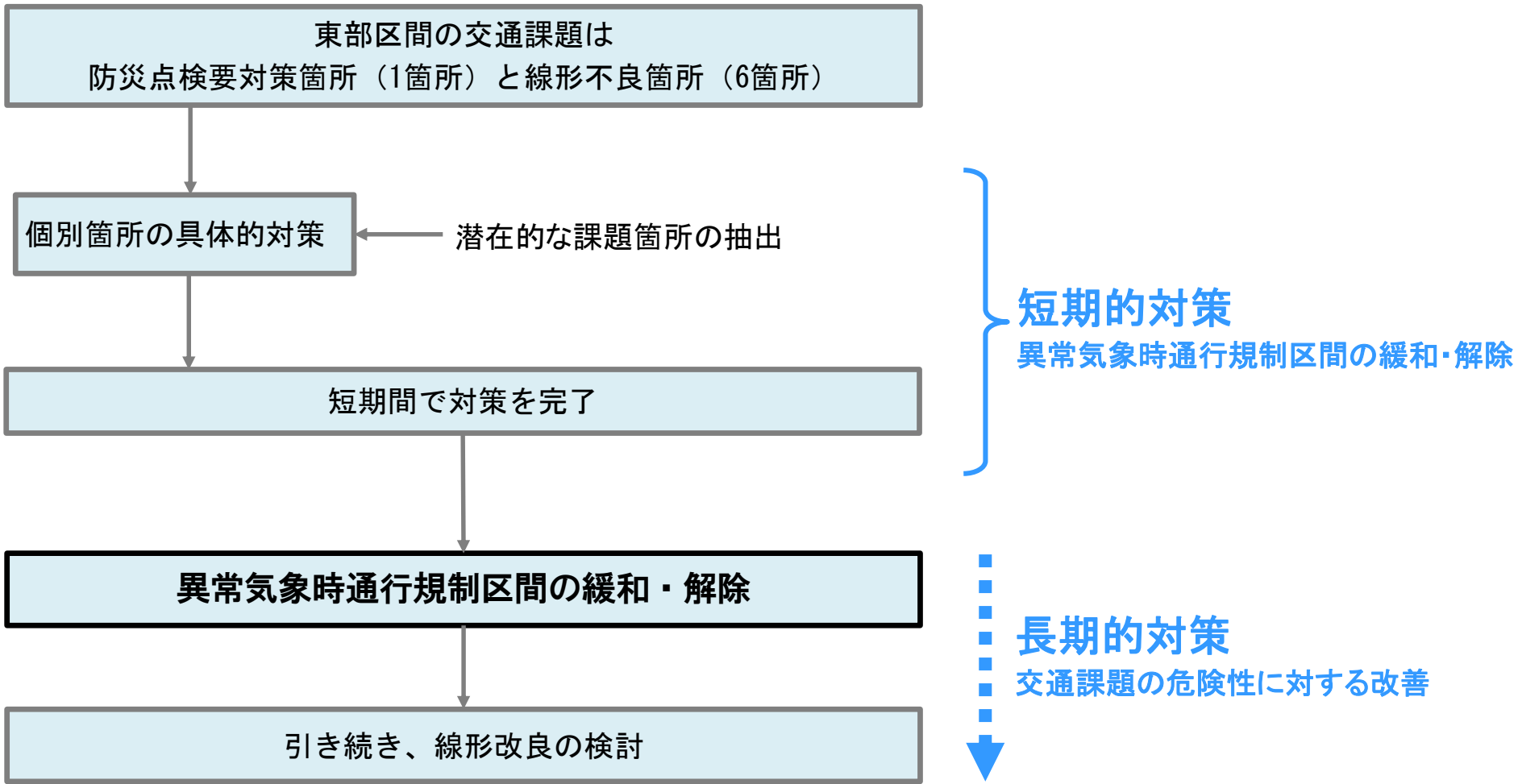
（主な意見）

- ・ LP解析により確認される状況も踏まえて、関係機関と協調しながら対策を進める必要がある。

3. 異常気象時通行規制区間の緩和・解除に向けた対応方針の検討

現状の安全性の確認

- 東部区間については、先行する伊勢神改良の事業工程をふまえ、異常気象時通行規制区間の緩和・解除を優先するため、短期間で対策を完了。
- 長期対策として通行規制区間の緩和・解除後の線形不良等の課題解消を検討。

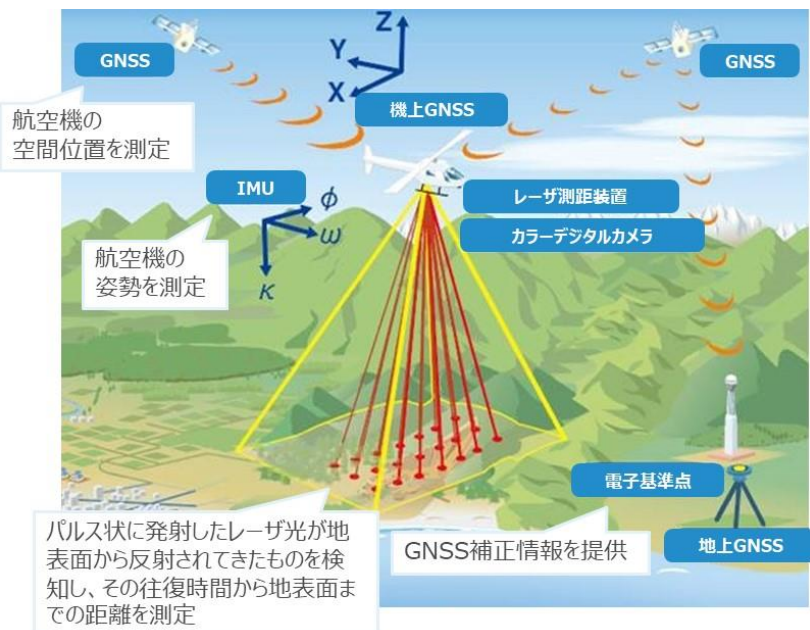


4. 潜在的な課題箇所の抽出(LP調査による危険性評価)

航空レーザ測量データを用いたLP調査の概要

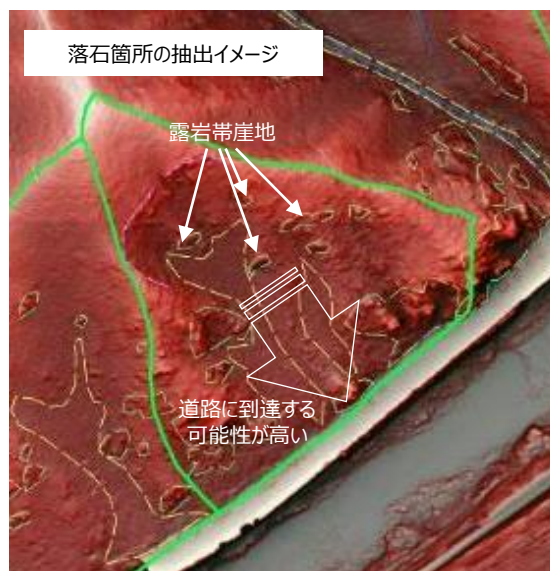
- 航空レーザ測量では、位置(X,Y)と高さ(Z)のメッシュデータが得られる。これらのメッシュデータを可視化する技術として「微地形表現図(赤色立体地図)」を作成。
- 「微地形表現図」を活用することにより、樹木下の段差地形等も把握することが可能。
- LP調査では微地形表現図を用い、尾根部まで含む「斜面单元区分」を行った上で「微地形判読」を行い、判読した地形要素に応じて斜面单元区分の危険度を評価(カルテ対応、要対策)。
- この危険度評価は机上調査結果に基づく判定であるため、最終的な安定度判定については現地での状況確認が必要。

■ 航空レーザ測量の原理

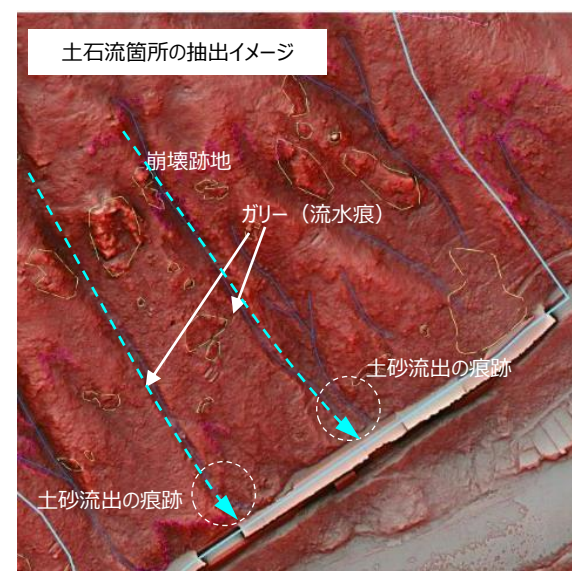


飛行機やヘリコプターから地上に向けてレーザを発射し、地表面で反射して戻ってきたレーザの時間差から、三次元データを取得する測量技術。

■ 航空レーザ測量データから作成した「微地形表現図」と「微地形判読」



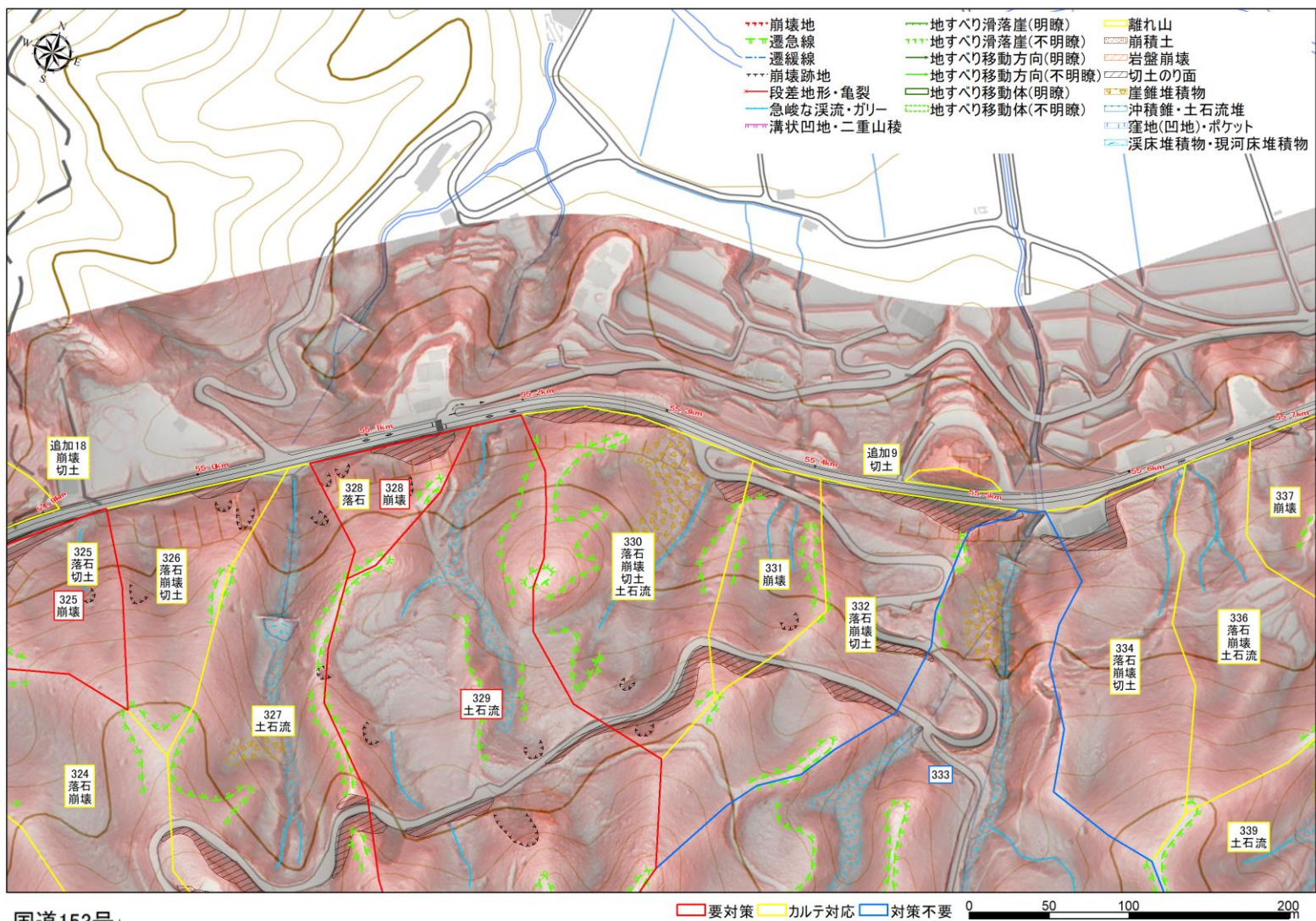
所々に急な露岩帯崖地が存在。崖錐分布等みると道路に到達する可能性が高い。
崖錐中も小さな起伏に富む。



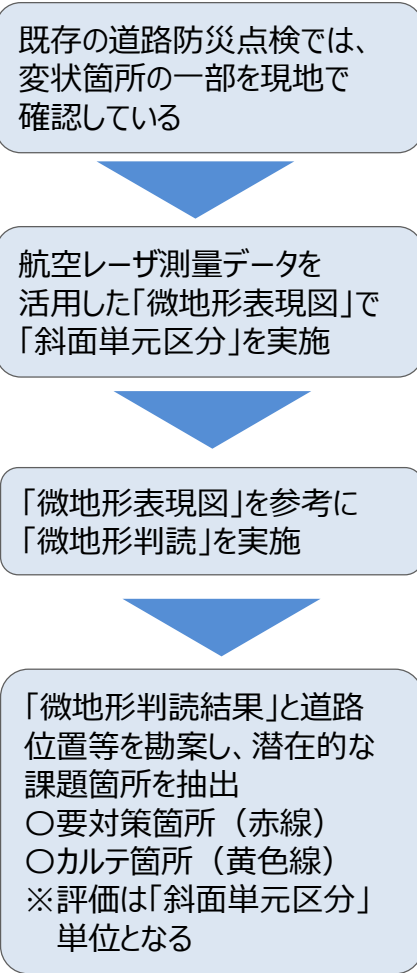
ガリー(流水跡)がいくつかあり、谷沿いに崩壊跡地があるが、流末付近にも土砂流出の痕跡がある。
流末は道路と接しており、土砂流化すると直撃する

4. 潜在的な課題箇所の抽出(LP調査による危険性評価)

■ LP 調査による潜在的な課題箇所の抽出方法



国道153号:



※今後、現地調査等により危険性評価が変更となる可能性がある